

KGU同窓会コミュニケーション誌

cheer [tʃiə] 応援すること。喝采すること  
激励すること。元気がよいこと  
気分のよいこと。おいしいこと

# Cheer

No. 8

## 京都学園大学同窓会

- KGUトーク&トーク  
後輩たちの話を聞いてどう思いますか？
- 特集ドキュメント  
へら師藤井秀和さんを訪ねて
- クローズアップ  
今年はKGU二輪部が熱いぞ
- KGUインフォメーション  
大学院に学んでみませんか？

同窓会より■全面広告

# iNFORMATION

## ふと学生時代を 思い出す日。

1年に1回そんな日があって  
いいと思いませんか？

同窓会員のみなさん、お元気ですか？ 第1期生の方から、'95年3月に卒業したばかりの第23期生のみなさんまで、それぞれ時代も年齢も大学生生活の思い出も異なる同窓会員諸兄弟のみなさん。だからこそ、このCheerで、いろいろ語り合いませんか？ ふと学生時代の思い出に時間を忘れる時が、1年に1回あってもよいと思いませんか？ そんな時、あなたの同期生も、きっとあなたのことを思い出していますよ。

あなたの投稿が、黄金の学生時代  
を思い出すキッカケになります。

ところで、わが同窓会誌のCheer (チア)。このCheerということばは、応援、激励、喝采の意味。転じて、元気がよいこと、気分がよ

いこと、また、おいしいという意味にもなります。つまり、母校を思い、後輩たちを激励し、みんなで喝采。それは元気の素であり、気分がよくなること。そうして同窓会員の連携を強め、誇りをもって、母校の発展と未来への可能性をおいしく噛みしめる。この同窓会誌Cheerは、そのためのツー・ウェイ・コミュニケーション・ツール。このCheer誌上が、みなさんのお便り、近況、活躍ぶりの交換の場となればと同窓会事務局は願っています。あなたの投稿が、同窓生を学生時代へと連れ戻すキッカケとなり、同窓会人脈をさらに強めていくことになれば、どんなにすばらしいことでしょう。

投稿、スナップ写真、ハガキ、  
結婚式のVTRその他なんでも  
送ってください。

みなさんの身の回りに起こった出来事、会社のこと、恋人のこと、学校での思い出、花嫁募集中、よろず相談、なんでも結構です。写真であれ、手紙であれ、Cheer編集部あてに寄せてください。

### ■投稿の仕方■

- ①投稿内容は不問、量の多少は問いません。
- ②見合い写真、古い写真、近況写真、なんでも結構です。
- ③その他、どんなことでもお便りを。
- ④①～③、どんなことでも、京都学園大学同窓会編集部へ郵送してください。粗品を進展します。

# Cheer

KGU同窓会  
コミュニケーション誌

# 8

■KGUトーク&トーク 後輩たちから熱烈アプローチ

## 後輩たちの話を聞いて どう思いますか？

3・4

今どきの学生たちは、何を考えているか？  
母校の校友会で活躍する後輩たちの  
熱烈トークと同窓会へのアプローチ。



■特集ドキュメント それぞれの卒業後を追う

## へら師藤井秀和さんを訪ねて

5・6

へら鮎釣りの魅力に取り憑かれて、30年。  
知る人ぞ知る、へら師藤井秀和さんのユニークな生き方。  
KGU同窓会メンバーにも、こんな人がいた。



■クローズアップ 後輩たちのここに注目ですよ。

## KGU二輪部に急接近してみると

7・8

昨年度、関西学二連で総合優勝、ランキング第1位。  
今年度、鈴鹿サーキット、NK 4耐レース予選突破。  
母校KGUの二輪部が、今とっても熱い。  
レース予選突破までのドラマを追う。



■KGUインフォメーション 大学院研究科からのレポート

## 母校の大学院に学んでみませんか？ 9・10・11・12

ふと、もう一度、大学に学んでみたくなる。  
最近、そんな社会人が増えていると、よく耳にします。  
我がKGUにも'94年4月に法学研究科が、  
'95年4月には経済学研究科と経営学研究科が誕生しました。  
社会人にも開かれている母校の大学院について、徹底レポート。

■KGUクラブ活動レポート

## 後輩たちの活躍ぶりに、胸が熱くなります。 13・14

さて、母校の後輩たちは、どうしているだろう？  
文連、体連の各クラブの活躍ぶりと、OBへのメッセージを。

■平成6年度KGU同窓会決算報告

■KGU紳士録8 WHO'S WHO

## 僕は時間(とき)を演出する 空間プロデューサー。

もち料理きた村  
北村保尚さんへのインタビューより



## ■KGUトーク&トーク 後輩たちからの熱烈アプローチ

わが母校KGUキャンパスで、今どきの後輩たちは、どんなことを考え、また先輩である同窓会のメンバーに、どのようなことを求めているのか。ある日、学友会のメンバーによるトーク&トークの会を企画してみると、同窓会への要求が、どっさり。さて、彼等の熱烈アプローチを、どう受け止め、どう応えていけばよいと思いますか？



### 後輩たちは、わが同窓会とのよりよい関係を模索している

高田 同窓会誌Cheerに掲載の座談会ということで、みなさんに集っていただきました。今日のテーマは、われわれ現役生は、同窓会つまり先輩方とどのような関係にあるのがよいか。また先輩方にはどんなことを求めるか。そういうことを話し合ってみようと思います。現状では、個々のクラブでOBの方との繋がりがありません。また



#### 高田保之

たかたやすゆき

学友会中央委員会議長  
経営学部・3回生・  
石原ゼミ(会計監査論)  
鳥取西高校出身(鳥取)  
「おんちんが僕のよき  
です」



#### 江口哲也

えくちてつや

全学部協議会議長  
経済学部代表委員会議長  
経営学部・3回生・  
坂本ゼミ(日本経済論)  
池川高校出身(兵庫)  
「どたん場まで何もしな  
い男です」



#### 米山佳宏

よねやまよしひろ

法学部代表委員会議長  
法学部・3回生・  
小林ゼミ(民法)  
名古屋学院高校出身(愛知)  
「とりあえず動く  
行動第一主義者」

# 後輩たちの話を聞いて どう思いますか？

### 学友会に、専用電話とFAX 誰か寄附してあげませんか

高田 て、現状を踏まえ、先輩方と同窓会にどのようにかかわっていくか。今回は、僕らの方で、こうしたい、こうしてもらいたいという話をすればいいのじゃないかな。東 体連の方からいえば、たとえば体育館が狭い。グラウンドが狭い。武道館が欲しい。そういう施設面の要求が多い。こうした面でのバックアップ。また、大学側との交渉のノウハウを僕は教えてほしいですね。切喰 これも施設や設備の話だけど、クラブBOXの数足りない。これをどう解決するか。同窓会に寄附してもらおうようなことはできないでしょうか(笑)、これについても知恵を貸してほしいですね。

高田 今、学友会の電話は学生課からの内線、外線がないじゃないですか。学友会活動も、龍尾祭が近づくと外部との交渉が多くなって、外線の電話とFAXがあればと思う。電話とFAXを寄附して下さい。(笑)

### お金だけでなく、先輩たちの知恵とノウハウを求めている

歌代 いきなり寄附の話が出てきたけど(笑)、お金だけでなく、先輩方の知恵やノウハウ、経験が欲しい。中執では、毎年、アカデミアといって、外部の方を講師に招いて講座を開いている。今後は、このような講座風でもよし、座談会風でもよし、OBの方と協力しながら交流をはかりたい。

西村 OBの方に講師をお願いして、就職セミナーをやってもよいと思う。大学の就



職セミナーもあるけど、学友会と同窓会の共催で、もっと少人数のグループ単位で具体的なこと聞けるセミナー。これを同窓会にお願いできたらいいですね。

米山 それから、新入生のためのフレッシュマンキャンプ。昨年はOBの三遊亭京楽さんをお呼びして、OBの方をゼミ単位くらいで呼べたらいいと思う。このセミナーは僕らが実質的に全部やっているから、OBの方さえOKなら実現できると思う。江口 今年度は、法学部も、できるだけたくさんOBに参加してもらえそうな企画にしてみたいですね。

### 龍尾祭に、OBを特別招待 現役生が先輩をエスコート

亀山 それから龍尾祭にも、もっともっと



#### 茂木一宏

もてぎかずひろ

法学部代表委員副議長  
法学部・3回生・  
川本ゼミ(刑法)  
太田東高校出身(群馬)  
「TVにも出演の  
エンターティナー」



#### 東 尚志

あずまたかゆき

学友会体育連合協議会  
財務&副幹事長  
経済学部・3回生・  
山田ゼミ(コンピュータ経済学)  
柴野高校出身(京都)  
「今までにない  
体連をつくります」



#### 歌代伸子

うたしろのぶこ

学友会中央委員会議長  
経済学部・3回生・  
尾崎ゼミ(経済統計学)  
昭和三学院秀英高校出身(千葉)  
「企画力より  
運営能力があります」

OBの方に来ていただきたいということですね。今年度はOBの方50名ほどを特別招待することを検討中です。同窓会名簿から無作為抽出で、または各クラブ1名程度のOBに特別招待状を発送する。出席されたOBは在校生が学内を案内する。これも学友会単独ではなく、同窓会との共同企画にできないかと。人選の方法や記念品の是非などについても同窓会と相談して決めたいと考えているところです。

切喰 そういうことでは、僕らは毎年、亀岡会館でコンサートを開催しているのですが、これもOBとのジョイントコンサートにしたり、文連系の演劇、映画、落語などのクラブによる合同フェスティバルにして、OBの方の参加を呼びかけたい。OBの方が参加してくればそれだけ盛り上がりやすくなります。

東 そうすると、体連では、OBとの合同スポーツ大会を企画してみようかな。(笑) OBとのテストマッチや、OBの方の体力測定。これも全学的な体育祭として企画してもいいと思う。問題は、どれだけOBが参加してくれるか。OB次第ですよ。

### できるかどうかは、OB次第 そう後輩たちは考えている



#### 切喰琢三

きりくいたくぞう

学友会文化連合協議会  
副幹事長  
法学部・2回生・  
小橋ゼミ(手形・小切手)  
三原東高校出身(広島)  
「ベース奏者として  
ジャズを追求」



#### 亀山達也

かめやまたつや

龍尾祭実行委員会議長  
学友会中央委員会議長  
経営学部・3回生・  
村上ゼミ(日本の経営システム)  
普通寺第一高校出身(香川)  
「僕の耳は動きまわります」



#### 西村藤生

にしむらふじお

龍尾祭実行委員副議長  
経営学部・3回生・  
瀬川ゼミ(オペレーションシステム)  
八幡高校出身(滋賀)  
「やるときはやる男です」

亀山 いろいろ企画が出てきたけど、そうすると学友会としても積極的に同窓会に働きかけていかないと。そういう時期にきていると思います。

西村 OB次第という意見が出たけど、どれだけ協力してもらえるかな。

茂木 それはやってみないとわからないですよ。龍尾祭の特別招待、文連の合同フェスティバル、体連のスポーツ大会。それから中執のアカデミア。フレッシュマンキャンプ。学友会がOBにどうアタックしていくか。僕らの働き次第でもあると思う。

歌代 学友会ももっと行動範囲を広げて同窓会とも連携を深めていくことですね。

米山 僕らは毎年改選されて1年単位で交代だから、蓄積と連続性がないじゃないですか。そういうことから同窓会との繋がりをもちたいと思いますね。

江口 ただ、OBの方に遠慮したり、同窓会が外圧になるような関係は避けたい。

高田 よくわかりました。今後、それぞれのクラブ、文連、体連などで個別にOBの方に働きかけてもらうとともに、学友会としても同窓会との連携を模索していきたいと思っています。ありがとうございました。

それぞれの卒業後を追う

へら鮒との終わりのない戦い、0.10秒の瞬間が勝負です。

藤井秀和(39)さんは、へら師。知る人ぞ知る、へら鮒釣りの名人だ。そのへら鮒釣りのキャリアは約30年、小学生のころ釣り堀に通い始めて以来のもの。母校のKGU入学後、へら鮒の競技会に出場するようになり、'91年の丸久ゴールデンカップ(全国大会)で第2位。そのほか、いろいろな大会で、優勝、準優勝、上位入賞と、見事な成績を収めている。

「子供の頃、近所のお兄ちゃんに連れられて釣り堀に行ったのが始まり。高校2年の時、釣りクラブに。大学では、釣り同好会に。もともと、自然のなかでへら鮒釣りを楽しむ方だったのだけど、そのうち若さの勢い

時間、大抵4回戦で決勝となる。

「へら鮒が口で喰っている以外のもの(スレ)は計算に入れない。へら鮒の針は戻りがなく、へら鮒は針を喰ってもすぐ吐き出す。浮きを見ながら、あたりの感触で竿を引く。0.10秒の瞬間の勝負です。それからへら鮒の密度の薄い池、濃い池があり、また多勢のひとが集まると、喰いしぶる。規定の範囲内で、仕掛け、餌合わせ、針の大小、竿の長さ、ハリス(浮きから針までの長さ)の長短を工夫する。そのポイントの見極めが勝負どころで、大会の1週間ほど前から泊まり込みで、いろいろやって、見極めていくわけです。」

全国各地のダムや湖へ行って、野釣りでは大物狙いです。

こうしたへら鮒釣りの大会のほか、藤井さんは、野釣りもやっている。釣り仲間と、北は北海道から南は鹿児島まで全国各地のダムや湖へ出かけて、鮒釣り。この野釣りでも、地形を見極め、仕掛け、餌、竿と針の大小など、その時々に応じた対応が必要となる。野釣りでは、へら鮒、真鮒、源五郎鮒、河内鮒なども釣る。

「へら鮒はやっかいな魚で、奥深く、底がない。どこまでやっても終わりが無い。朝、へら鮒は、モジリといって、酸素を求めて跳ねる。それを見て、仕掛けを考える。野釣りでは、大物狙いに出るのですが、ぼろになることも。今まで僕が釣ったのが一番大きいのは48.1センチ。野釣りのあと、旅館に戻ってメンバーで反省会をやる。これが楽しい。勉強になります。」

藤井さんは、釣り堀(管理池)専門の会の「チーム美技」、野釣り愛好会の「へら師

たっぷり大自然を呼吸して  
ストレス解消に最適です。  
へら鮒はやっかいな魚で、  
何年やっても奥深く底がない。



●へら師(へら鮒釣りの名人)

藤井秀和さんを訪ねて  
('78年経済学部卒)

で競技大会に出るようになったんです。」

へら鮒の競技会には、シマノ(釣具)、ダイワ(釣具)、がまかつ(針・竿)、丸久(餌)の4大メーカー主催の全国大会を始め、報知、スポニチなど、新聞社主催の地方大会など、さまざまなものがある。競技は勝ち抜きトーナメント。釣りあげたへら鮒の重量を競い合う。1回勝ち抜き10キロ、20枚~25枚が勝負の日安となる。1回戦2~3



阪神クラブ」に所属している。「チーム美技」では役員(会計)も。4大メーカー主催の全国大会、報知、スポニチの地区大会、それに野釣りの仲間との遠出、クラブの会合や会議。毎月、最低3~4回は出かけることになる。そのほか釣具メーカーのモニター、フィールドテスターの仕事もある。また今年のG杯争奪全日本選手権大会(がまかつ)では審査員もつとめた。

「最近、関東勢、関西勢とも、若手の進出が目立ちます。まだまだ老け込む年齢でもないのですが、若い頃と違って、瞬間の反応が鈍くなってきた。今後は、釣り堀の方では後進の指導を中心に、野釣りでは大自然のなかでの鮒釣りを追求していきたいと考えています。」

大自然のなかでのスポーツ、へら鮒釣りをしませんか。

藤井さんは、大阪府下茨木市で両親と大衆食堂を営んでいる。へら師のプロは東京に数人いるが、彼等も釣具メーカーなどの研究員を職業としている。しかし藤井さんの生活の基盤は食堂経営にある。

「これまで、ずうっと好き勝手をして、両親に迷惑をかけてきた。もう両親も年齢(とし)ですから、家業の方にも本腰を入れなければ。もっともっと若い人がきてくれる味の店にしたいと思っています。」

大衆食堂だから、御飯(めし)を大切に

する。このため丹後半島のコシヒカリを年間契約で仕入れている。

「その仕入れに車で丹後へ行く途中、母校の前を通りかかる。なつかしいですね。」

KGUの釣り同好会の仲間とは、年に1~2回、飲み会をやっている。いつも14、5人は顔を揃える。学生時代、龍尾祭では洗心池にゴムボートを浮かべ、地域のひとを招いて釣り大会をやった。その当時の洗心池は昔からの溜め池のままで、鯉がたくさんいた。それから、夏の合宿では若狭へ海釣りへ。また大学の近くに映画俳優の近衛十四郎の経営する釣り堀があって、そこへよく通った。そんな思い出話に花が咲く。

「大自然のなかで大学生活を送った。それが今日までの僕の生き方を決定づけた。ゼミでお世話になった中尾先生、諸先輩方との交流もなつかしい思い出です。」

もし、へら鮒釣りに興味をもつひとがいたら、いつでも連絡してほしいと、藤井さん。初心者でもOK。一人でも多く、このスポーツの魅力を知ってもらいたいと思うからだ。

「仕事に忙殺され、ふと自分を取り戻したいと思うようなとき、へら鮒釣りは最適です。ストレス解消になります。また、今後の高齢化社会を考えると、老人になっても楽しめるスポーツ。その気になれば、いつでも始められますよ。」

ご連絡は、0726-32-3076へ。

Profile

藤井秀和(ふじい・ひでかず)  
'56年大阪府茨木市生まれ、39歳。  
'78年京都学園大学経済学部経済学科  
卒。私立浪商学園高校出身。  
へら師。大衆食堂を両親と経営。  
'79年結婚。息子さんは、高校1年生。  
「息子も子供のころから釣り堀に連れて  
いった。だけど、へら鮒ではなく、  
ブラックバスをやっています。それ  
と、音楽に凝っていて、時代の違い  
を感じますね。」





lose-up

後輩たちのここに注目ですよ!

## KGU二輪部に 急接近してみると

# 今年、鈴鹿NK4耐レース予選突破、 関西学二連総合優勝、 鈴鹿NK4耐レース予選突破、 二輪部が熱い。

### 鈴鹿4時間耐久レースで 予選突破の快挙!

★今年7月の鈴鹿のNK4耐レース。決勝では、転倒でリタイア。惜しかったね。

ええ。だけど、プロも参加するレースで予選通過。しかも、学生チーム参加5大学中ではトップ。転倒したのは、リムが外れてタイヤがバンク状態になったため。レースの1カ月前に、バイク屋さんが火事になって出走予定のバイクが燃えてしまった。そこで急遽別のバイクをレース用に改造して、整備も不十分、バイクにも慣れていなかった。アンラッキーでした。

★転倒したのは、もう一人のライダー福永くんだったね。その時どう思った?

その直前に交代して、僕はピットにいた。予定のタイムを超えても帰ってこないで、どうしたのかと心配していると、オフィシャルさんが、転倒したと。そのうちモニタ

ーTVにも、その場面が映し出されて。福永さんは、そのあと、バンク状態のままもう一度走ったのだけど、ヘアピンカーブで、また転倒。そこで、リタイア。悲しかったですね。

★運がなかったのかな。だけど、来年への目標ができた。来年は決勝で完走だね。

ええ。来年は、チームを再編して、決勝での完走を。レースでは何が起るかわからないので、どんなことにでも対応できるチームづくり。それと誰にも負けない走りをめざして練習です。

### 来年もがんばりますので 物心両面の応援を!

★ところで、昨年度は関西学二連で総合優勝という快挙。ランキング1位だね。

ええ。学二連では、春と秋にオフロード、夏と冬にオンロード(ミニ)と4回レースがあるのですが、その総合成績で第1位。



メカニックの工具。バイク完成の時の立役者。  
——7月20日



クラブBOX。メンバー全員で、ミーティング。  
——7月11日



完成したバイクを車に搬入、鈴鹿へ運ぶ。  
——7月19日

レース5日前、出走のバイク完成。予定のバイクが火事で焼失、新しいバイクをレース用に自分たちの手で組み上げた。  
——7月18日



鈴鹿NK4耐レースで、予選突破の快挙。走行中の第1ライダー黒瀬くん。  
——7月22日



最後のバイク調整。メカニックの桜栄(写真左)と小田嶋(同右)。



レース開始前のピットクルー。バイクの調整を終え、最後の打合わせ。左から、福永(第2ライダー)、前川(監督)、桜栄(メカニック)、小田嶋(メカニック)のチームメンバー。  
——7月23日



レース予選で、ピットイン。第1ライダー黒瀬くん、ボード川崎さん、タイムキーパー福中さん。——7月22日

18大学22サークルのトップだから、気分がいいですよ。もちろん来年も、トップの座をキープすることが目標です。

★今、部員は何名? どんな場所で、どんな練習をやっているの? BOXは?

現在、部員は男24名、女6名。練習は、名阪スポーツランドなどで。それぞれが思い思いにやっていて、特に決まった練習メニューがあるわけではない。年に一度、合同練習をやるくらいです。キャンパスの裏山で秘かに練習する者もいますけど。それで、二輪部って何をやっているの? と、僕らの活動がよく知られていない。それが残念です。要するに学内に練習場がないからなので、できればサーキットが欲しいですね。BOXには、いつも部員があつまって、和気あいあいとやっています。

★合宿は? それから龍尾祭なんかのイベントではどんなことをやっているの?

合宿は、ツーリングになりますね。みんな

でバイクを連れて日本海方面へ泳ぎに行くことが多い。大学祭では、いか焼き屋の店とバイクの展示をします。

★この同窓会誌をつうじて、OBに伝えることは? 先輩へのメッセージを何か。

そうですね。初代主将の吉村さんは、学二連のレースに必ず来て下さる。その同期生の松永さんも、いろいろ応援を。僕らには心強い存在で、カベにぶつかったときは助言をお願いしています。それから、今年の10月には、オンロードのプロを講師に招いて、一般の方を対象にライディングスクール(講習会)を開催しました。来年もやりたいと思っているので、OBの方もぜひ参加して下さい。来年も、学二連のレース、鈴鹿のNK4耐レースでがんばりますので、OBの方には物心両面の応援をよろしくお願いたします。

今年の夏、鈴鹿サーキットで、二輪部の後輩たちが、激走、熱走。あのNK4時間耐久レースで、見事に予選突破。決勝では惜しくもリタイアしたが、プロも参加するレースでの、この快挙。やっってるね、後輩たち。

## KGUインフォメーション

# 母校の大学院に 学んでみませんか?

母校KGUに大学院3研究科が揃い踏み!

大学院法学研究科  
(ビジネス法学専攻)

大学院経済学研究科  
(地域政策専攻)

大学院経営学研究科  
(経営学専攻)

今年'95年(平成7)4月1日、母校KGUに、  
昨年の大学院法学研究科について、  
大学院経済学研究科、大学院経営学研究科が設置され、  
母校は、社会科学系の学部3学科に

大学院3研究科を擁する大学へと大きく発展した。  
この大学院3研究科には、社会人入試制度があり、  
OBにも広く門戸を開いている。

不思議なもので、卒業してからわかる勉強不足、学問の大切さ。  
ここで一念発起、もう一度、母校の門をたたき、大学院に学んでみる。  
これもまた刺激的な新しい生き方だと思いませんか。

## ユニークな社会人入試制度を もうけ働きながら学ぶ人を応援 する!

母校KGUの大学院は、法学研究科(ビジネス法学専攻)、経済学研究科(地域政策専攻)、経営学研究科(経営学専攻)の3研究科3専攻で、いずれも修士課程の大学院研究科となっている。

このうち、法学研究科は、市民関係法、企業関係法、国際関係法など、実社会で実際に発生しているさまざまな社会現象を法的な観点から分析し探求する日本初のビジネス法学専攻の大学院である。そして、経済学研究科には、地域社会の経済・行政・教育等を政策科学的に探求するユニークな地域政策専攻、また経営学研究科には、経営管理システム・会計学の分野で高度な専門職業人を育成する経営学専攻が設置されている。

これら母校の大学院3研究科は、KGU

の3学部と'92年4月設立のビジネスサイエンス研究所を母体として設立された。ビジネスサイエンス研究所は、法学・経済学・経営学の3分野にかかわる理論と政策の学際的な研究機関として設置され、これを基盤として、より高度な学術研究の推進と国際化の進展への対応、また高度な専門職業



人の養成と再教育をめざして設立されたのが大学院3研究科というわけである。

京都市中部以北の地域に社会科学系の大学は母校KGUだけであり、もちろん大学院も他に例をみない。その発足は、それぞれの専攻のもつユニークな学問的スタンスだけでなく、母校キャンパスのある亀岡・口丹波地区の生涯学習都市宣言に呼応するものとして、地元の熱い視線を浴びている。

## もう一度じっくり学んでみたいと 思うOBには再挑戦のチャンス だ!

ところで、この母校KGUの大学院は、卒業生はもとより一般の社会人に対しても大きく門戸を開いている。たとえば、入学試験では、一般入試、学内選考、飛び級選考、留学生選考のほか、社会人選考の制度をもうけ、大学院での再教育を求める一般社会人や企業の要請に応じている。また企業や地方公共団体からの派遣学生にも研究の機会を与えている。そのほか、授業時間についても、学生と担当教員が相談して決定するユニークな方式を採用しており、働きながら学ぼうとする人をバックアップする姿勢を強くアピールしている。

不思議なもので、社会人になって働いてみて、もっと大学で勉強しておけばよかったと、誰しも勉強不足を痛感するものである。また、何をどう学んでおけばよかったか、学問の方法や自分のテーマ、これを学びたいという目的意識に目ざめるものである。同窓会員のみなさんも、一度や二度は、そんな体験があると思う。

後悔先に立たず、学生生活は二度と帰ってこない。と、これまでは、ほろ苦い思いで学生時代を思い出さず終っていたのだが、母校に新しく誕生した大学院研究科は、もう一度しっかりと学びたいと思う人に、再挑戦のチャンスを与えてくれそうだ。そこで今回は特別企画として、母校KGUに誕生した大学院研究科について、3研究科長へのインタビューを掲載する。

さて御同輩、同窓会会員の諸兄姉、このあたりで、母校の大学院研究科に学ぶことを考えてみるのもまた有意義なことだと思いませんか。

# 1 interview

## 大 学 院 法 学 研 究 科

ビジネス法学専攻



石田喜久夫 教授

大学院法学研究科長  
(市民関係法担当)

## 従来の法体系の枠組みを超え、 ビジネス法学という 新しい観点からアプローチ。

複雑多様化する現代社会の諸現象は、  
個別の法分野の条文解釈と  
それにもとづく理論の構築を中心とする  
従来の法律学では対応できなくなっている。  
そこで今、もっともアクチュアルな法学として  
注目されているのが、  
ビジネス法学という新しい学問アプローチの手法だ。

法学研究科の学問テーマは、  
どのあたりにありますか?  
ビジネス法学専攻は、どんな  
ことを学問対象としていますか?

法学研究科では、実際に発生しているさまざまな社会現象に法的な視点から多角的にアプローチして、実社会での法の運用に焦点をおいた研究に取り組むことをテーマとしています。現代社会は複雑多様化し、ある社会現象を法的に分析しようとする場合、単一の法的分野にかかわる手法では捉えきれなくなっています。つまり個別の法分野の条文の解釈とそれにもとづく理論の構築を中心課題としてきた従来の法学では限界が見え始めているのです。ビジネス法学専攻では、こうした限界性の打破をめざして、企業社会などでの具体的な法の使い方に重点をおき、多角的に社会現象と法運用の関係を分析していく。そういう特色をもつ法学研究科です。

カリキュラムの編成は、  
具体的にどうなっていますか?  
また、どんなふうに修士論文を  
まとめているのでしょうか?

カリキュラムは、さまざまな社会現象のなかでも特に経済活動に焦点をあて、基幹

領域として、市民関係法、企業関係法、国際関係法の3科目群を編成しています。市民関係法は、不動産法や消費者取引法など一般市民社会に密着した経済活動とこれともなう現代的な課題を取り扱います。また企業関係法では、企業組織法や金融取引法など企業の経済活動に直結する法的問題を、国際関係法では、E C法、国際取引法など企業の国際化と不可分な専門領域をテーマとしています。修士論文は、それぞれ担当教授の指導のもとにまとめていくのですが、あらかじめ何をテーマとするのか自分の問題意識を明確にしておくことが大切です。また論文指導を受ける教授は、自分と性格の合う人を選ぶのがよいでしょう。大学院に学ぶ以上、どの教員がどの分野でどれほどの力をそなえているかを見抜く眼力も身につけてほしいですね。

法学研究科に学ぶひとに  
どんなことを望まれますか?  
また、本学OBの同窓会員に  
メッセージをお願いします。

大学院に学ぶ人に求めるのは、まず何よりも意欲ですね。意あまって力足らずということもありますが、何はさておき行なおうとすることが重要です。何事も天賦の才能があり、これを努力で超えることはできないのですが、さりとて人間は努力するよりほかないのです。また学問は、高度になればなるほど少々の努力では理解できないことも覚悟すべきです。ただ、常に広く知識を求め、自分の頭で考え、それをしるべき教員にぶつけてみることに尽きます。本学の法学研究科は、ちこんまりした規模ですが、幾人かのスーパースターを擁する優れた教授陣を誇りにしています。現在、修士課程だけでなく、他大学の博士後期課程に進学することも十分に可能であることを力説しておきたいと思えます。



大学院  
経済学研究科

地域政策専攻



傳田 功 教授  
大学院経済学研究科長  
(地域産業構造論担当)

激変する社会状況を先取り  
明日の地域社会のために  
政策を構想できる能力を。

高齢化、国際化、サービス経済化という経済の基本トレンドのなかで、新しい地域社会のあり方と市民生活の方向が見え始めている。そして、こうした現実の動きを見定め、今後の地域社会の充実と発展のために新しい政策を構想する能力が求められている。

経済学研究科のテーマはどのあたりにありますか？ また地域政策専攻では、どのようなことを学問対象としていますか？

経済学研究科では、近代経済学の基礎の上に立ち、今後の地域社会への政策科学的な思考能力を養うことをテーマとしています。今日の日本は大きな転換点を迎えています。それは戦後50年の節目というだけでなく、江戸時代後期からの近代化150年の節目です。そして、たとえば高齢化、国際化、サービス経済化といった経済の基本トレンドに対応して、規制緩和、地方分権など、地域社会の生活と経済の充実を求める新しい国民経済の方向が徐々に出てきています。新しい日本は確実に動き始めており、新しい理念にもとづく地域政策の形成を図る必要性が強く求められているわけです。経済学研究科では、そのような社会変化のなかで、新しい地域政策を構想できる人材の育成をめざしています。

カリキュラム編成は、具体的に、どうなっていますか？ また修士論文はどのようにして書いていくのでしょうか？

カリキュラムは、設置科目を基礎理論分

野と地域研究分野の2つのグループに分け、それぞれに講義と演習を開講しています。このうち中心となるのが、指導教授の演習です。これは入学時に選び、2年間にわたって履修して、修士論文をまとめます。修士論文は、テーマを指導教授と相談して決め、最新の研究をサーベイします。テーマによっては、フィールドワークを実施したり、統計数学と格闘することも必要となります。大学院では研究一筋で、どっぷりと研究に浸る生活です。

経済学研究科に学ぼうとする人に望まれることは？ また同窓会員である本学OBにメッセージをお願いします。

大学院は講義数が少なく時間もたっぷりあるように見えますが、講義では質の高い理解を要求され、容赦なく質問が飛びます。自分から学ぶ姿勢がなければついていけません。それから修士論文の作成では、最初から自分のテーマをもっていること。もちろん、最初の思い通りに事が運ぶことはほとんどなく、途中で大幅な変更やさらなる絞り込みが必要となってきます。これも覚悟しておいて下さい。また、大学院では社会人の方の入学を歓迎しています。特に経済学研究科は、地域の産業振興や高齢化など地域社会の問題に取り組み、地域社会の生活の充実のために地域の現場で格闘している人の入学を待望しています。地域政策だけでなく、その他の目的で経済の理解を深めたい人も歓迎します。これからの高度情報化社会、知識集約的な産業が中心になる社会では、個人にとっても社会にとっても、頭脳が財産です。いったん社会に出たものの勉強不足と思われ知らされた、また社会で経験を積んで自分のやるべきことがはっきりしてきた、そういう人々に本学の大学院は広く門をあけています。



大学院  
経営学研究科

経営学専攻



高田正淳 教授  
大学院経営学研究科長  
(会計学担当)

経営管理システムと会計学、  
企業と社会が求める  
高度な専門職業人を育成する。

今日のように国際化と情報化が進展し、複雑な取引の形態や新しい経営の手法が次々と開発されている企業経営の分野では、高度な専門知識と能力が求められている。有効な経営管理システムと会計情報、今後の企業経営のエッセンスは、この2分野が焦点となっている。

経営学研究科の学問テーマは、どのあたりにありますか？ 経営学専攻で重要なのは、どんなことでしょうか？

経営学研究科は、今日の企業を取り巻くさまざまな状況を的確に認識したうえで、そこで重要となる経営管理システムや会計学の高度な知識と思考能力の育成を教学の重要なテーマとしています。そして、これによって現在の社会で強く求められている専門⇄職業人の育成を最大の狙いとしています。経営学では、経済学と違って、企業経営の立場に立って経済社会の動きや出来事に具体的にアプローチしていきます。このため経営学では、単なる抽象論や演繹論は意味をもたず、実例や実態に関する資料をよく分析して、実践可能な新しい解を求めるアプローチが常に求められます。そこに経営学専攻のポイントがあります。

カリキュラムは、具体的にどのようになっていますか？ またどんなふうに修士論文を作成していくのでしょうか？

カリキュラムは、専攻の中心となる科目群を経営管理科目群と会計科目群の2つにグループ分けしています。そして、さらに



それらを学んでいくうえで有効と思われる分野を関連科目群として位置づけています。これらの科目群には、「—特殊講義」と名づけられた講義科目と専修科目(演習)があり、講義科目は1年次で、演習は1・2年次をつうじて履修します。この演習で指導教授を選び、その指導のもとに修士論文を書くことになります。修士論文は、指導教授と相談してテーマを決め、通常、演習時にテーマにそって作成したレジュメを配布して報告をし、そこでの討議と指導を得ながら最終的なものにまとめていきます。

大学院研究科に学ぶ人にどんなことを望まれますか？ また同窓会員である本学OBにメッセージをお願いします。

大学院研究科に学ぶ人に求めたいのは、自主的に進取の気性に富む勉学態度です。2年間で必要単位を履修し、論文を完成させるにはかなりの集中力が必要ですから、生活態度もそれを適応させていかなければなりません。同じ文献を読んでも、やり過ごしてしまう人もいれば、なんでもないとこに問題を発見し、それが独自の考え方や独創的な研究のきっかけになる人もいます。望まれるのは後者の人です。物事を常に批判的に見て、それを発想のひらめきに到達させていくことが大切です。また時代は大きく変化しており、新しい経営の知識や手法が次々とあらわれ、得られる知識や情報も10年前の5、6倍にはなっています。経営学は民間の企業活動をベースとする裾野の広い学問で、4年制の大学だけでは到底消化しきれないものになっており、企業経営のリーダーも、今後は大学院出の高度な専門知識をもつ集団に取って変わられようとしています。経営の実態を深く知るために、また自分の将来を考えて、本学OBの方が大学院の門をたたかれることを望んでいます。

# 後輩たちの活躍ぶりに 胸が熱くなり、 BOXを覗きたくなる 今日この頃です。

## 文化系クラブ

### 茶道部

夏秋の茶会などに是非お越し下さい。

現在、私たちは、月火木の平常の稽古に加え、毎週水曜日には、伝統の家元稽古。他大学との交流も盛んで、裏千家学生茶道研究会を中心に、茶会・研究行事など、さまざまな活動に参加しています。夏秋の茶会、龍尾祭の茶席などで、OBの方にお目にかかることができると幸いです。ご連絡は、元野裕行06・876・0460まで。

### 写真部

中古機材等のご提供をお願いします。

久しぶりに女子部員が入り、写真部は状況を呈しています。ただ初心者が入部が増え、機材等の不足も目立っています。OBの方々には、中古機材のご提供をお願いします。また、夏、冬の学外展、大学祭には、ぜひお越し下さい。学祭には、泊まり込みで活動しています。ご連絡は、井内康喜0771・26・2420まで。乞う、ご連絡。

### ウィークリーコンサートクラブ

OBとのジョイントライブも企画中。

ジョイントコンサート(10月)、学祭(11月)、定期演奏会(12月)、それに新龍祭(4月)、新歓ライブ(5月)、ランチタイムコンサート(6月)など、ほぼ毎月1回の活動。学外ライブは、ハガキなどでお知らせして

いますが、もっともっと見に来て下さい。今年はOBの方とのジョイントライブも企画しています。ご連絡は小林大介0771・25・8390へ。

## 国際交流クラブISA

OBの方にとっても国際交流の場に。

'94年9月、国際交流を深め、異文化に触れることを目的に結成された新しいクラブです。ここ数年、外国人留学生が目立って増え、まず彼らと交流を深めることから始めたいと考えています。企業活動も国際化の時代。OBの方にとっても、国際交流を深める場になるよう努力します。ご連絡は、永田貴聖0771・24・1518まで。

## ボランティア研究会

今も元気な青葉学園でのボランティア。

先輩方が活動された、青葉学園。ここで中学生の学習指導をつづけ、小学生や幼児と楽しく遊んでいます。今年は、文化の集いの開催地が亀岡になり、一生懸命お手伝いしようと張り切っています。先輩方の御指導をお願いします。またクラブBOXにも遊びに来て下さい。ご連絡は、福庄隆樹075・332・2826まで。よろしく。

## 法友会

今年も龍尾祭では焼きおにぎり屋へ。

新入生が多数入部して、週1回の定例会(金曜日)での分野別の勉強会を中心に、高等裁判所の見学会など、年々、活動も活発

になっています。今年も大学祭では焼きおにぎり屋を出店します。お時間があれば、ぜひ遊びに来て下さい。また、OBの方々のご指導をお願いします。ご連絡は、堀之内裕二0727・73・0705まで。

## 新聞部

わがクラブBOXに顔を見せて下さい。

昨年は部員の入部がなく、一時はどうなるかと不安でしたが、今年度は5名の新入生を迎え、とまかく張り切って活動しています。毎週水曜日にメンバーが顔を揃えますので、クラブBOXに一度顔を見せて下さい。先輩方のご指導ご鞭撻をお願いします。また、ご寄稿もお待ちしています。ご連絡は、大江佳広0771・22・2001まで。

## 体育系クラブ

### 二輪部

鈴鹿NK耐久レースで予選突破です。

今年'95年7月の鈴鹿NK4時間耐久レース。わが二輪部は、クラブチームとして参戦して、予選通過。決勝では、惜しくもリタイアしましたが、'94年度年間総合ランキング第1位に恥じない戦績を収めています。この結果に満足せず、これからも努力しますので、ぜひ応援のほどを。ご連絡は、前川修0771・22・3013までお願いします。

### 陸上競技部

インカレ全員入賞と1部昇格が目標。

今年は、新入生10人以上を迎え、以前にも増して練習に力が入り、とてもよいムードです。インカレ全員入賞、1部昇格を合言葉に、部員一同がんばっておりますので、応援よろしくお願いします。毎日、グラウンドで練習していますので、差し入れ、ご指導、アドバイスを忘れなく。ご連絡は、

高比良直也0720・40・8559まで。

## 洋弓部

レンジ新設の話もありチャンス到来。

アーチェリー部は、リーグ戦を始め、いろいろな団体戦や個人戦に積極的に参加して、リーグ昇格、上位入賞をめざして、日々練習に励んでいます。また、レンジ新設の話も出ており、チャンス到来と、部員一同、張り切っています。転居される場合は、郵便局、そして後輩にも、ご一報を。ご連絡は、東尚志075・492・8743まで。

## 競技スキー部

アドバイスと差し入れをお忘れなく。

昨年までの部員減少に歯止めが分かり、今年は23名(男17・女6)という大世帯で練習や合宿に取り組み、部室にいても活気がみなぎり、とてもよい状態です。シーズンの目標大会で満足できる成績を残せるようがんばっていますので、応援、アドバイス、激励、差し入れを、よろしく。ご連絡は、青木智彦075・642・5214まで。

## 硬式野球部

室内練習場もできて上位を狙います。

現在、部員39名(3年生14・2年生3・1年生13・女子マネ9)で、毎日練習に励んでいます。今年は、3月に沖縄キャンプ、また夏休み中に室内練習場ができて、思いっきりバッティングに打ち込みました。このため秋季リーグでは上位を狙える態勢がととのいました。先輩方の熱烈的な応援とアドバイスをよろしくをお願いします。

## ラグビー部

昨年度のリーグ戦勝ち越しをバネに。

現在、部員31名で、そのうち女子マネージャー7名。昨年は、リーグ戦勝ち越しを

目標に戦い、5勝3敗(リーグ5位)で目標を達成しました。今年は、もちろん昨年以上の成績が目標です。先輩方も仕事で大変だと思われていますが、毎日練習していますので、是非一度クラブに顔を出して下さい。ご連絡は、三木真0771・24・8969まで。

## 柔道部

先輩方のつくった伝統を忘れないで。

柔道部は、現在11名(男10・女1)と部員が少なくなっており、ちょっと低迷していますが、先輩方がつくられた伝統を忘れないで、再び全国大会出場をめざして、日々努力しております。こんなときこそ、OBの方の励ましとアドバイスが必要です。心身両面にわたるご指導をお願いいたします。ご連絡は、松山真也075・392・2882まで。

## ソフトテニス部

只今リーグ4部を目標に練習中です。

今年の大学対抗選手権大会では、西日本Aトーナメント準優勝、全日本Aトーナメント3位の戦績。只今、リーグ4部昇格をめざして、日々練習に励んでいます。試合に勝つことを常に意識して、まとまりのあるクラブづくりが目標です。まだまだ未熟ですが、御支援とアドバイスを、よろしく。ご連絡は、中村省二0771・23・1466まで。

## 少林寺拳法部

諸先輩方のアドバイスをお願いします。

現在、男子部員14名で、活動中。'94年5月の関西学生選手権大会、11月の同新人戦では、決勝進出。月曜日から金曜日まで、厳しさのなかにも楽しさのある練習を通じて、身体的かつ精神的に強靱な人間となることをめざしています。ここ当面の目標は、関西学生秋季大会での上位入賞。諸先輩方のアドバイスと応援をお願いいたします。

## 平成6年度京都学園大学 同窓会決算書

一般会計 (単位:円)	
科目	決算額
前年度繰越金	1,105,971
会費	17,775,000
雑収入	400,405
収入の部合計	19,281,376
科目	決算額
事務費	647,410
人件費	0
事務補助費	647,410
会議費	647,819
会議費	163,069
交通費	484,750
事業費	11,202,876
同窓会設立20周年記念事業費	698,687
会報発行費	5,208,000
名簿発行費	252,811
総会費	661,775
助成費	4,151,603
慶弔費	230,000
積立金	5,000,000
基金積立金	0
事業積立金	5,000,000
予備費	0
翌年度繰越金	1,783,271
支出の部合計	19,281,376



紳士録

WHO'S WHO'S

全国各地から母校に学んだ同窓生たち。そして今、全国各地で活躍する彼等彼女たち。今回のWHO'S WHO(紳士録)は、京都の木犀町にある知る人ぞ知る、もち料理のきた村の経営者北村保尚さん(37)をクローズアップ。

## 店の主(あるじ)は、 時間(とき)を演出する 空間プロデューサー!



★肩書……旬きた村代表取締役社長。きた村は、京都の木犀町にある餅料理の店。といっても餅だけでなく、京都のおばんざいを中心とする素材でセンスのよい料理が評判の割烹だ。母が始めた店を学生時代から手伝い、年商2億4千万円以上の店にそだてあげた。木屋町の本店のほかに、京都文化博物館店、従業員23名、いろいろな企画を立てて商売商売できばつてもかえって客足が速のく、そこがこの商売のむずかしいところ。

★軌跡……電気設備業を営んでいた父の釣友達を母が家でもてなした。その料理が評判を呼び、母が創業。開店を前に、こんな料理でええのやろかと悩む母に、餅に醬油かけたのでもええやんか。と父が言ったのが餅料理の始まり。そんな店ですらから継ぐほどでもなか

った。ただど着飾った京料理に押されて京のおばんざいが忘れ去られそうになっている。それをふと可哀そうに思った。素材なおばんざいをおしゃれに現代に生かす。これが、きた村の料理です。

★独学……料理は独学。大学卒業後、一度修業に出ようとしたが周囲に止められた。お母さんの味を捨てるのか? 「それから板長と毎日錦に通っていろいろな素材を仕入れ、自分で料理して、父、板長、友達に食べてもらった。ずうつと独学ということにひげ目があったけど、格式の高い店の料理ももともと我流。独学といえるようになったのは、最近のことです。

★学生時代……アルバイトと遊び。1年間休学して、オーストラリアまでヨットを回航。レースに参加した。これもアルバイトで。高校時代からのヨット仲間。先輩。大学時代の友人は、僕の財産です。

★経営……料理に創意工夫。そして、心のこもったおもてなし。「店の主は、いつてみれば空間プロデューサー。お客さまに一時(いつとき)の時間をどのように過ごしていただくか。その気配りが勝負どころ。

★友よ……そろそろ同窓生が顔を揃えてもよい年齢になったと思う。いろいろな義理してきたので、今度何かあれば出席します」。



もち料理きた村  
代表取締役社長

# 北村保尚

きたむら・やすひさ  
82年京都学園大学経済学部経営学科卒  
私立立命館高校出身  
店の経営、ライオンズクラブ、木屋町会などの役職のほか、出身校の立命館高校ヨット部監督、妻と娘(小3)息子(年長組)と、京都の郊外の鞍馬に住む。ヨットも料理も、人間関係との組み合わせの妙。素材をどう組み合わせるかです。

## 京都学園大学同窓会

〒621 京都府亀岡市曾我部町南条 ☎(0771)22-2001(代)